



アスンシオン通信

日付: 2024 年 10月 11日 no.15

発行者: 田邊紘起

サマータイムに入りました！

¡Hola ! Buenas tardes . Que tal?

日本はもう秋ですね。朝晩が少しずつ涼しくなってきた頃でしょうか。日が短くなって暗くなる時刻が早くなるのが残念ですね。南半球（地球の半分から南側）にあるパラグアイでは、逆にこれからだんだん日が長くなっていきます。そのため、10月6日の日曜日から「**サマータイム**」という日の長さに合わせて時計の時刻を1時間早める時期に入りました。そ

うすることで、涼しい早朝から仕事や学校を始めることができます。ただ、慣れていないので、同じ国にいながら時差ボケ（時間の感覚に体が合わせられず体調をくずすこと）を起こしてしまいそうです。

サマータイム制が始まって、日本との時差がちょうど12時間になりました。スマートフォンの時計は、5日の午後11時59分から1分進むと6日の午前1時に変わりました。さすがです。ちなみにパラグアイ政府は、来年からサマータイム制をやめる決定をしたそうです。

ブラジル側から見るイグアスの滝

前回は、アルゼンチン側から見たイグアスの滝を紹介しました。上から見る滝はとても迫力がありましたが、今回はブラジル側から見た滝を紹介します。ブラジル側にも「イグアス国立公園」という公園があり、そちらからも滝を見に行くことができます。なぜ、2つの国が1つの滝をはさんでいるかというと、昔あった戦争が関係しているそうです。その結果、ブラジルとアルゼンチンでイグアスの滝を分け合って国境（国のさかい目）にしたそうです。

ブラジル側の滝見学は全身びしょ濡れになります。朝の寒い時間からボートに乗り、猛スピードで滝に向かいます。一応ライフジャケットはつ

けていますが、シートベルトはありません。



【どんな景色がとびこんでくるのかドキドキしながら待つボート=イグアス国立公園】

途中で絶景スポットに停船し、虹がかかる滝をながめることができました。まるで大きな長いカーテンのようです。



【よく晴れて滝に虹がきれいに映り込む=イグアス国立公園】

ボートは勢いよく上流（水が流れている方向）に進みます。どんどん滝に近づいていきます。この先は想像ができますね。そのまま滝のカーテンに突っ込んでいき、全身びしょ濡れです。通過したと思ったら、またクルッと回って何度も滝に突っ込みます。「バモース（行けー）！」とみんなで盛り上がっていたら、船長さんも調子にのって何度も体験させてく

れました。(ちなみに「悪魔ののどぶえ」はまだまだ奥の方で、このボートで行くことはできません)



【大きな滝にのまれに行きます。雨ガッパの意味なし=イグアス国立公園】

ボート体験が終わり、ぬれた服のまま川のそばを歩いていると、アルゼンチン側にもいたハナグマが何匹も出てきて一緒に歩いてくれます。野生なので危険ですが、見た目はとてもかわいくていやされます。

写真右下の桟橋を歩くと、滝に囲まれた景色を見ることができます。ただ、水しぶきが凄すぎて写真は撮れませんでした。乾きかけていた服もまたまたびしょ濡れに…。



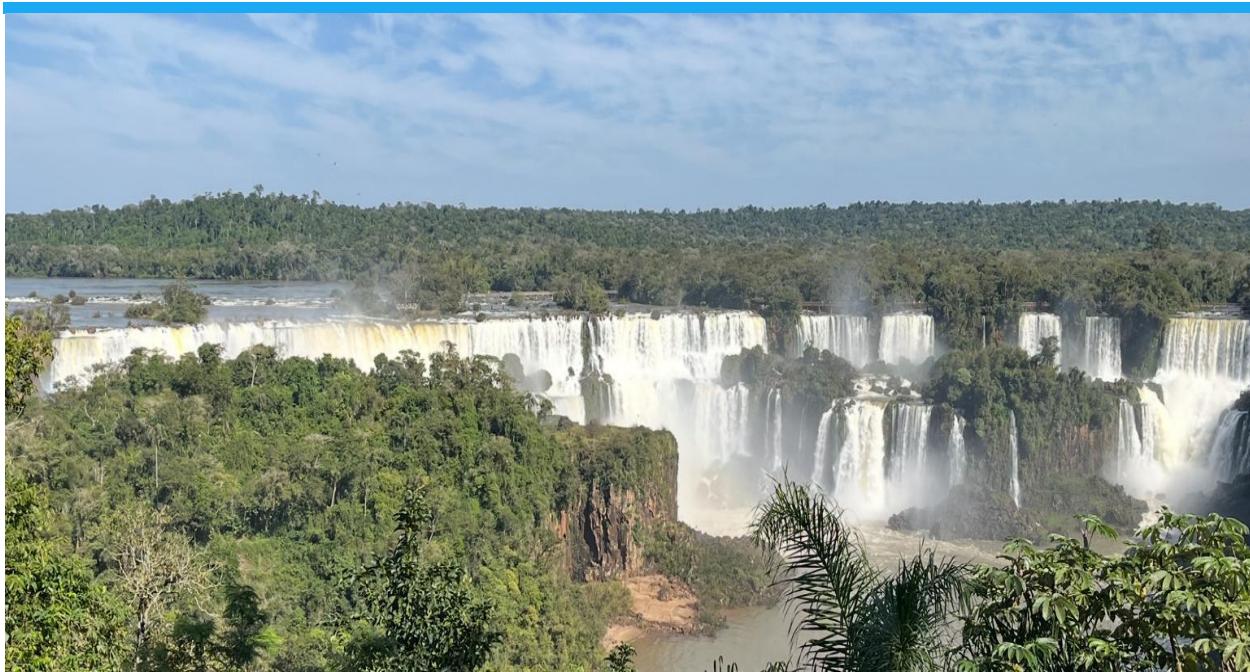
【滝に囲まれた大パノラマ＝イグアス国立公園】

遊歩道の最後に滝を間近で見られるところがありました。空から降ってくる感じで、どどどどっという爆音のため叫んでも声が聞こえません。



【手前に映る人が小さく見える大迫力=イグアス国立公園】

最後に出口近くの展望スペースから滝をながめました。いくつもの滝がつながって広く大きなイグアスの滝になっています。次の写真をよくみると、対岸(アルゼンチン側)の滝の上に遊歩道があるのが分かります。前日あんなところを歩いていたと思うとゾッとしてしまいました。



【はなれて見ても大迫力の大自然＝イグアス国立公園】

さて、今回はブラジル側からのイグアスの滝の様子を紹介しました。大まかな違いとして、滝を上から見るアルゼンチン側と下から見るブラジル側といった感じでしょうか。私は現地に来て自分の目で見て、自然が作り出した世界遺産の迫力に圧倒されました。日本にも自然の世界遺産があるので、ぜひその魅力や歴史を調べてみてください。

紓起先生のクイズコーナー

Q. パラグアイにもパンは売っていますが、日本でよく見る菓子パンやお惣菜パンのようなものはありません。帰国したら思う存分食べたいと思います。そこで問題です。「パン」はスペイン語で何というでしょう。

- 1. ブレッド
- 2. パン
- 3. ポリヨ

正解は…②の「パン」でした。なんと呼び方が日本と同じです。ちなみに①のブレッドは英語で「パン」を表す言葉です。アメリカに行って「パン」と言っても伝わらないので気をつけましょう。③はスペイン語で「チキン(鶏肉)」という意味で「pollo」と書きます。パラグアイでは「ポリョ」と言うことが多いですが、ペルーでは「ポジョ」、アルゼンチンでは「ポショ」と言います。同じスペイン語を話す国でも、方言のように国によって言い方がちがうのは面白いですね。

スペイン語・グラナーニー語ひとこと講座

feliz cumpleaños! (フェリス クンプレアニヨス) : お誕生日おめでとう!

ハッピーバースデーは英語です。こちらでは使いません。パーティが大好きなパラグアイの人たちは、学校や幼稚園でも友達の誕生日がある度、部屋を風船でいっぱいにしたり、お菓子やプレゼントでいっぱいにしたりしてお祝いパーティをします。おどろいたのは、誕生日の人にプレゼントを渡すだけでなく、誕生日の人も友達全員にプレゼントやお菓子などをふるまうことです。祝う人も祝われる人もみんなで楽しもうという文化が素晴らしいです。

次回について

次回は、日本に関係した行事についてお伝えします。

Chao chao! nos vemos!